

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2018
冬号

<No.195>

CONTENTS

- 「新年のご挨拶」 ●関西地方からの修学旅行生が「美讃」を見学！
- 高松空港 滑走路等改良工事 ●宇多津秋の大収穫祭 ●イベント情報



国土交通省 四国地方整備局
高松港湾・空港整備事務所

高松港

2017/12/15 クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」

総トン数:26,594トン
全長:183.4メートル
総乗客定員数:620名



「新年のご挨拶」

新

年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、おかげさまで皆様の深いご理解とご支援の下、当事務所本年度工事も順調に進捗しておりますことにつき、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

昨

年は私自身、沖縄からの転勤という節目がありました。一年という月日のたつのが本当に早くなったと実感するとともに、自分がこの一年間で何を成し遂げたのかと自問自答し、深く反省する次第です。着任後、香川県内の各地に足を運び、その土地の景色を眺めたり、謂れを聞いたりしますと、改めて海と私たちの生活との関わりについて気づかされることがあります。港や空港は私たちの地域と国内や世界との窓口として非常に重要な社会インフラであると認識させられました。

今

年の抱負としては、「港や空港の整備を通じて地域を支える」という事務所の役割を関係者と一緒に果たしていきたいと思っております。具体的に、高松港の整備などを予定しております。また、高松空港に予定されている空港運営の民間委託を間近に控え、今年度中に滑走路や構内道路の舗装打替えを完了させるべく努力する所存です。併せて南海トラフ巨大地震などの自然災害への対応やテロ対策の強化、海面を漂流するゴミや油の回収、海や港に関する啓発活動等についても、各関係機関と連携の上、事務所職員一丸となって進めていきたいと考えております。

最

後になりましたが、本誌をご覧いただき、ありがとうございます。念すると共に、事務所事業に対する、みなさま方のご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

高松港湾・空港整備事務所長

神田 忠士



